



募集します！

新たに決定した『市の木、花、鳥』のデザイン

まちの魅力創出課・☎2261

市制100周年を記念し、新たに制定した『イチヨウ、フジ、カルガモ』。これらを皆さまに親しんでいただくため、広く活用できるデザイン画(図案)を募集します。

募集期間 10月26日(火)～11月8日(月)

応募資格 クラウドワークス会員であること

※無料の会員登録が必要。

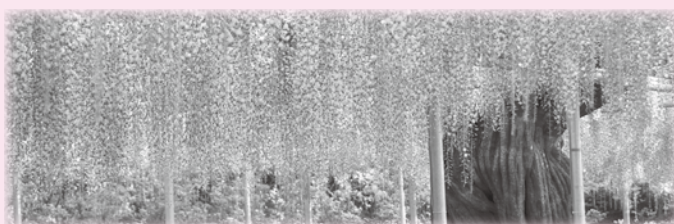
応募方法 (株)クラウドワークスが提供するインターネットサイト上で本市が公開する仕事(コンペ形式)から応募

※採用作品には報酬あり。

選考方法 審査員が選定した数点を市公式LINE上で最終投票

最終投票 11月9日(火)～26日(金)

※応募規格などの詳細は、市ホームページをご覧ください。



申請はお済みですか？
被災者生活再建支援制度
契約管財課・☎2118
令和元年東日本台風で住宅が全壊するなどの被害を受けた世帯に支援金を支給しています。
対象 罹災証明書の罹災区分が『全壊』『大規模半壊』、やむを得ず住宅を解体した『半壊』の世帯
申請期限
▽基礎支援金Ⅱ 11月11日(木)
▽加算支援金Ⅱ翌年11月11日(金)

お知らせ

ちよと

—市民の皆さんの活躍をご紹介します—

いい話。😊

足利大学附属高弓道部女子が初優勝！
令和3年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会 第66回全国高等学校弓道大会

7月29日(木)から8月1日(日)に新潟市で開催された同大会で、同校の藤本友香さん、小池輝来々さん、アリ・マリヤムさん、中村莉緒さん、中村穂花さん、相波静香さんが所属する弓道部女子が初出場で初優勝しました。

個人でも優勝した主将の藤本さんは「前日の公開練習で1本しか的に当てられず悩んだが立て直すことができた。支えてくれた親や先生に感謝したい」と喜びを語ってくれました。



▲左から中村(莉)さん、中村(穂)さん、アリさん、小池さん、相波さん、藤本さん

申込方法 次の書類を持って同課(本庁舎6階)
▽基礎支援金Ⅱ罹災証明書、世帯全員分の住民票、世帯主の預金通帳の写し
▽加算支援金Ⅱ契約書の写し(住宅の建設・購入、補修、賃貸がわかるもの)
支給額
▽基礎支援金Ⅱ 37・5万円(100万円)
▽加算支援金Ⅱ 37・5万円(200万円)
※詳細は市ホームページをご確認ください。

※会場などにお越しの際は、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力ください。また、状況により延期や中止となる可能性があります。

第8次足利市総合計画基本構想 パブリック・コメント結果

総合政策課・☎21103

実施期間 6月28日(月)～7月21日(水)

意見提出者数 2人

意見数 13件

意見により修正した項目 0件

※修正には至りませんでした。今後の基本計画、実施計画の参考といたします。

※詳しい結果は、市ホームページをご覧ください。

申込期限が延長されました！

マイナポイント事業

情報政策課・☎21114

マイナンバーカードを受取後、本年中に同ポイントを申し込み、要件を満たすことで上限5千円分のポイントを受け取れます。

対象 本年4月末までに同カードを申請された方

ポイントの申込期限 12月末までにチャージまたはお買い物

支援窓口 12月27日(月)までの

▽平日Ⅱ市役所本庁舎1階

▽土・日曜、祝日Ⅱ行政サービスセンター

温故知新 4

命を守る

防災・減災への取り組み

早川 尚秀

近年、気候変動により集中豪雨や台風による甚大な被害が頻発しています。8月には線状降水帯により九州北部をはじめ広島県や長野県など各地で甚大な被害が発生しました。例年同月の降水量の3倍以上の雨が降ってしまうといった状況が起こっています。

こうした災害は全国どこでも起こりうる状況にあり、本市としても市民の命を考え、誰もが安全に暮らしていける街であるために、行政としてやるべきことを鋭意進めていかななくてはならないと改めて強く感じています。

防災という観点からは、足利市中心部に架かる中橋周辺の堤防をかさ上げすることが求められています。この箇所は堤防が計画の高さから大きく切れ込んで

でいることから、水害の危険性が高い重要水防箇所指定され、長年の懸案となっていました。治水・防災上、早期の改修が必要であることは地元地区の皆様にもご理解をいただいています。

そして、堤防のかさ上げに伴い、老朽化が進む中橋の架け替えも必要となります。さらに、この中橋を北側に進む道路は、道路構造令による勾配(斜度)の点からJR線の上を通り旧国道50号交差点へつなぐ跨線橋とすることになります。

これらは一体として事業認可を受け進めていかなければならない、との国・県の考え方があり『堤防のかさ上げ』により防災上の危険箇所を解消していくためには本市としてもこの方針に沿って進めていかななくてはなりません。

私は、この事業を中橋の架け替えだけで終わらせてはいけなさと考えています。これを機に、市中心部の再生・活性化をいかに進めていくかを真剣に考

え、取り組まなければなりません。まちづくりには、橋の上を使ったイベントではなく、もつと地に足の着いた地道な取り組みこそ必要なのではないでしょうか。

市中心部には、歴史文化都市・足利の原点である饒阿寺や足利学校、足利織姫神社等が存在しています。他にはないこれら貴重な地域の財産を活かしながら、定住促進、空き店舗の活用、市立美術館の活用など、商業や観光の振興にもつなげるための方向性と施策について、商工会議所や観光協会をはじめとする団体、地元地区や事業者の皆様と積極的に議論を深めていきたいと思っています。

この事業について、地元の皆様には様々なご意見・ご要望があり、何より不安にさせてしまし申し訳なく感じています。それらを受け止め、国・県・JRに出向き、直接要望し意見を交わす機会を作っています。望ましい結果を出せるように全力で取り組みます。